

公民館だより

No. 74

ひがしの

2002. 9. 15

人口 1,828 人

(男) 895 人

(女) 933 人

世帯数 537 戸

(H14.9.1 現在)



昔、山や川は子供たちの遊びの場であり、一面訓練の場でもあった。時には転び、ケガをすることがあっても、次に大事に至らぬ防御手段を本能的に学んだものである。

なかでも川は魚の捕獲、そこに住む生物の観察、歩き方など…。

しかし、今子供たちはそんな機会が少なくなりました。

学校の「安全第一」という考え方から、又、親御さんも多忙で川へつれて行けない。

こんな時こそ子供の大きな成長のため、誰かが責任の一端を持ち、手助けをすることが必要と思われる。

そこで今回地域あげて「子供たちに川遊びの体験」を支援することになりました。8月18日飯沼川で、子供たちは放流されたマスや、ウナギを釣ったり、つかまえたり、大喜びでした。

主催された青少年育成会議、PTA、子供会、おいしいおにぎりを作っていただいた虹の会の皆様、ありがとうございました。

子供たちも楽しい思い出の中に「ありがとう」の感謝も忘れず、育っていくことと思います。

寄稿

夏祭りを終えて

実行委員長 飯田新蔵

振興会役員会で東野の三大イベント「夏祭り」(他は体育祭、文化祭)の実行委員長に推挙され、ふと少年時代の事が思い出されました。当時の青年団等が主催して小学校の運動場で村中の老若男女が、幾重にも輪になって時間を忘れて踊っていた姿を思い出した。

勿論、あの頃のようにはいかないまでも、なんとか多くの人の参加をえたい、そのためにはなにをすれば…。実行委員会でいろいろな意見の中で花火を取り入れてみることにした。とはいっても先立つものが…。幸い地域の企業、商店の皆様、個人からのご協力を頂くことが出来実施の目途がつかしました。

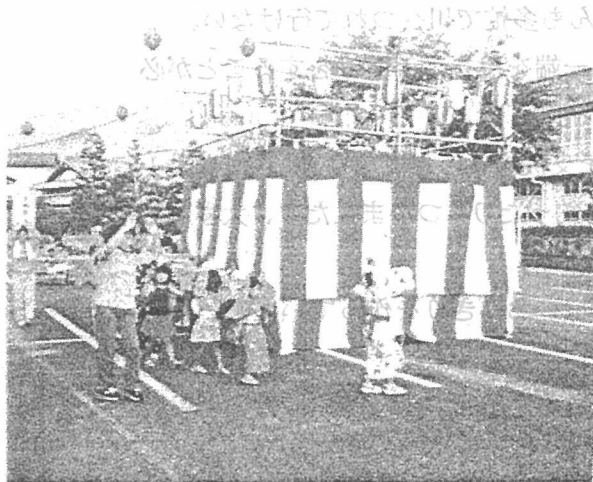
更に踊りの練習指導には、丸山、松浦、神谷、西尾様に連日指導を頂きました。参加者がやや少なく心配されたが、例年どりのようでした。

当日(八月十五日)は炎天のなか、櫓の組み立て、チヨウチン着け、テントはり、電気、音響設備、売店等全て自治会長さん等の協力で進んでいく。

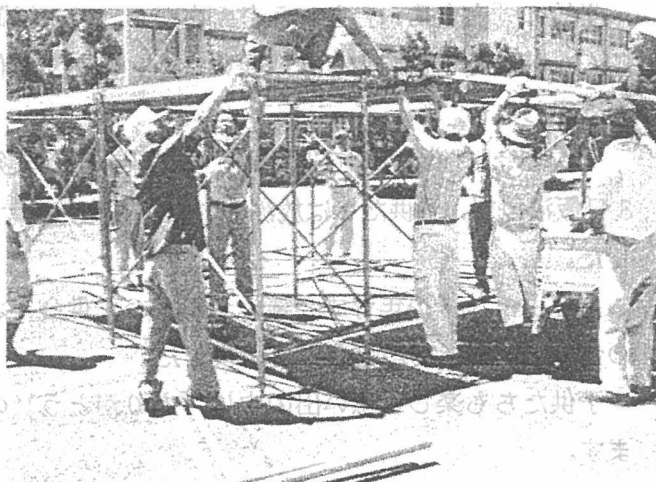
5時には子供たちも集まりチヨウチンにも灯かりが入り、まずはチビツ子の踊りから。櫓の上では市川さんの鮮やかな太鼓の音頭とり。ころあいを待ての手筒と打ち上げ花火、バサラ。

売店も好評で売り切れ、700名近くの参加と思われます。この祭を支援いただきました電気設備、音響、警備にご協力くださった皆様、バザー担当の東雲会、自治会長の皆様ご協力ありがとうございました。

更に来年に向け役員一同一生懸命頑張ります。今後もよろしくご指導、ご協力下さいますようお願いいたします。



チビツ子踊り



準備作業

保古用水を歩いて

大井町 磯部みどり

市民講座の赤尾さんのコースで何度か用水を歩いています、飯沼からのコースは初めてでした。
まず、飯沼駅から県道を歩いてびつくり！ まむしの死骸、3匹、恐ろしい場所です。

用水は、大正時代に作られ、今では坂本あたりまで続いているそうです。どう見ても水が流れているのに、逆に登っているような錯覚におちるような道です。歩きやすいように、用水組合の方が前もって下刈りをしていただき、ありがとうございました。平均台のような橋が何ヶ所もあり、スリルもありましたが、よくこのような水路を作られたなと、先人の力に驚くばかりです。夏休みということで、お子さんも多く、にぎやかで明るいウォーキングでした。開けた所から見える東野の景色は、とてもすてきでした。目的地に到着後、館長さんの差し入れのスイカときゅうりの漬物が待っていました。最高でした。

ウォーキングも気持ちのいい風をあび、とてもよかったです。もっと、先まで歩きたかったです。

みなさんも 歩いてみてください。

赤尾さんのコースで、東野を歩く機会が多くありますが、どこにも水路があり、とても気持ちがいいのですが、保古用水の他にも（飯沼川、山本等）数本の用水が完備されているおかげだと、あらためて実感しました。

“虹の会”より仲間募集のお知らせ

虹の会代表 千藤美智代

私達虹の会では、「人とのふれあいの中、仲間づくり、夢づくり、納得のできる環境作り」を目指して現在活動を行っております。

会を発足して一年余りたちます。

現在の主な活動内容は： 公共的、団体的な活動をお手伝いとし、毎年行われている文化祭、青少年育成会議による体験交流会の昼食（おにぎり）づくり、体育協会主催の二四時間ソフトボール大会の食事づくり、環境美化運動の毎月の缶拾い、独居の方（あやめ会）の料理教室のお手伝い、その他色々な行事に参加させていただき、皆さんと楽しくお手伝いをさせていただいております。

なかでも一番嬉しかった事は、先月八月二十四日あやめ会、しょうぶ会の方達をお招きし、バーベキューを催し、暑い中一汗も二汗もかきながら色々おしゃべりしながら楽しいひとときを過ごしていただいた事。人とのふれあいの中沢山の昔の話、知恵袋の中より色々教えていただき、私達会員とても勉強出来、嬉しく思いました。

又、手づくり作品等の講習会も実施しております。ご希望の方は一声お掛け下さい。

虹の会はボランティアグループですので、会員になったからと言って毎回どんな活動にも出なければ…そんな気兼ねはありません。会員になって下さり、参加できるときだけお手伝い願えばとてもありがたいです。

是非、仲間になってください。皆さんの加入を待っています。地域のため、自分のため、心にゆとりを持ちながら虹の輪を大きく広げたいとおもいます。

むらのわたい

その一 終戦記念日

八月十五日、東雲会、郷友会の合同で、終戦記念日合同追慕の会が行われた。

今年で何回になるのか…。それでも一人ひとり当時を思い浮かべ、つらかったことを抑えて語られる。仲には、他には語れないつらい思いがあることは聞く側に想像される…。

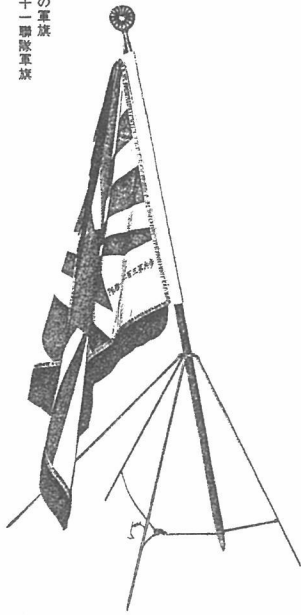
当日は東雲会婦人部の皆さんによる「すいとん」がふるまわれた。当時（戦時中）食糧難の時代、旨い、不味いは二の次であり、空腹をしのぐための食事であった。私共にも記憶はある。

どんなものであったか…。広辞苑では、「水団、「とん」は団の唐音。小麦粉を水で練った団子を、ネギや大根の汁に入れたもの。食糧不足の時代に代表的主食とされた。」とある。

当日の味は格別で、恐らく当時のものとは比べられない味である。「昔はまずかった。こんなにおいしいものではなかった。」とお替りの注文も…。

慰霊祭、靖国神社を語り、戦時をしのび平和を尊ぶ集いでした。

現存する唯一の軍旗
歩兵第三百二十一聯隊軍旗



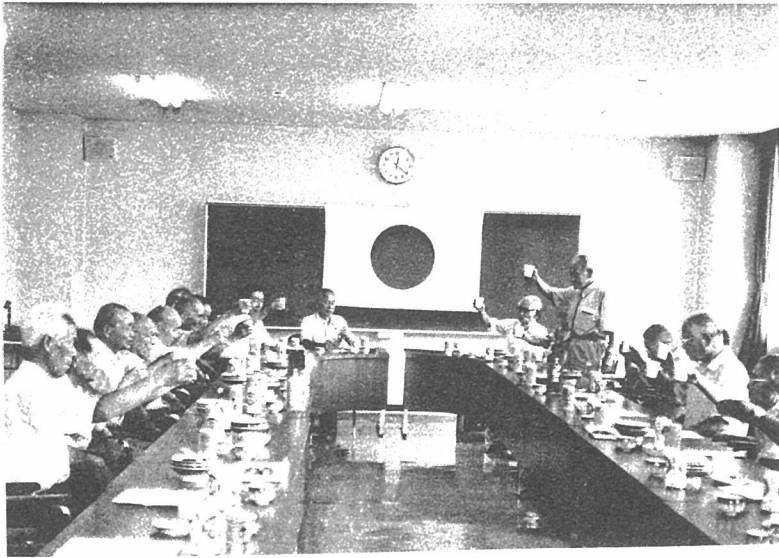
その二 農業集落排水事業

平成十二年度の事業着工以来、組合役員の努力で順調に進行している。

今年はいよいよ流末の処理施設（基礎部）の着工となる。処理施設に限っては、十五年度末には完成の見込みである。

また、管渠工事については、県道阿木く大井線の他、北山、山の手、中島、下沢地内等で約四、五七七m予定されており、今までで最も長い距離で工事がされる。

交通規制など、確かめて通行しましょう。



追慕の会

その三 敬老会

例年のとおり自治会女性部の協力を得て開発振興会主催で行われました。

当日は、各種のアトラクションも入り、久しぶりの出会いに話など花咲かせ、一日を過ごされました。

今年の招待者（七十七才以上）は大正十五年三月三十一日以前に生れた方で、男性六六名、女性一一一名でした。

又、九十九歳（白寿）を迎えられた方（明治三十六年く同三十七年三月三十一日）は

伊藤富次郎さん（中辻）、

八十八歳（米寿）を迎えられた方（大正三年四月く同四年三月三十一日）は

足立義男さん（中辻）

伊藤正三さん（白坂）

土方貞夫さん（北万場）

千藤忠昌さん（中島）

伊藤時三さん（南天）

丸山錐江さん（上大門）

のみなさまです。おめでとうございます。



その四 環境美化作業 九月一日

以前は「彼岸道づくり」といわれ、東野の年中行事となっていたが、今では「環境美化作業」という言い方となった。本来、市道は市が管理するものであるが、現在市道1,226路線、延518km東野だけでも83路線、延31kmであり、東野からおよそ土岐までの距離である。全ての面までの管理は不可能である。そこでできることは市民（地元）の手で…というもので行われている。

この歴史は、村時代昭和二十二年からの記録がある。ちなみに南天王前組の記録では、「十月三日、彼岸道作業、〇〇組長宅にて、後祝、馬肉五百匁（1.9kg）二百匁、酒一升三合、一三二匁六〇銭、いぼう他四〇匁、計四七二匁六〇銭、米各自二合」とある。面白いのは二十四年東野村土木委員の検査で南天組は一等賞となり賞金六〇〇円役場から受け取ったとある。二十五年には酒二升、肉八〇〇匁、他〇〇さんよりドロク一升とも…。二十六年は検査で一等、七〇〇匁。南天組の皆さんは作業が上手であったと思われる（？）。恵那市合併（二十九年）後の三十二年には市役所のオート三輪車で土入れとある。

このように、東野では、村時代から今というボランティアがごく当たり前に行われ、後祝も又自費（戸割り）で楽しんだようである。

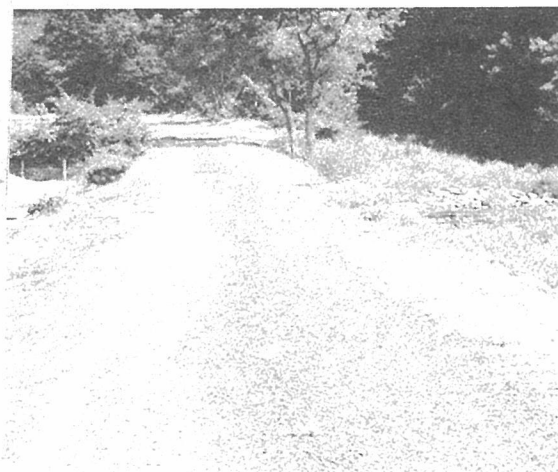
今では、道路法面（のりめん）の草刈り、側溝

の土砂出し等の作業を主体とした「環境美化作業」である。

ごくろくさまでした。



作業の終わった道路



その五 手づくりおもちゃで遊ぼう

小学生と東雲会の交流会の一環として、小坂巖さんの指導で竹トンボと水鉄砲づくりが小学校で行われた。

といつても、小坂さんは事前に三十名の竹トンボ、水鉄砲を作つてこられ、参加者に配布された。竹トンボには「発射台」が工夫されており、竹トンボの足を糸で巻き、糸を引っ張る回転でトンボが舞い上がる仕組みである。

二、三回の試運転でうまく飛ぶようになり大喜び。高く飛ばす人、遠くへ飛ばす人。

水鉄砲もお互いに撃ち合い（水をかけ合い）びしょぬれになったまま…

小坂さん「子供達が喜んでくれよかった。」と満足そうでした。

ありがとうございます。

この交流会は他にも囲碁、将棋もされており



ごみの話

八月に各自治会ごとに新しい分別についての説明会があった、もう一度ゴミについて考えてみよう。

1 ごみってなに？

広辞苑では——物の役に立たず、無い方がよいもの。ちり。あくた。ほこり。また、つまらないもの——とある。

では、法のうえではどうか——「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」——第2条において——

「廃棄物」とは——ごみ、粗大ごみ、燃え殻、汚泥、ふん尿、廃油、廃酸、廃アルカリ、動物の死体、その他の汚物又は不要物であつて固形状又は液状のもの——とある。

つまり 人間の活動に伴つて発生したもので、ゴミなどの汚物や自分で利用したり他人に売却したりできないため不要になったものをいう。

また、発生形態（出所）から「一般廃棄物」「産業廃棄物」に大別される。

日常生活から出されるものを「生活系一般廃棄物」といい、厨芥類、缶類、ビン類、家具、紙ず等がある。

それ以外の廃棄物は「事業系一般廃棄物」及び「産業廃棄物」と定義されこれには工場、事業所、商店などから排出されるものであり、営利目的の事業活動や公共の事業活動に伴つて生じた廃棄物をいう。

また、「もの」で分類すると今までは大きく別け

て「資源ごみ」、「可燃物」、「不燃物」であつたが、来年四月の「新清掃センター」完成に伴い、今年十二月より分類方法が一部変更となり

「資源ごみ」は今までどうり——アルミ缶・

ガラス瓶類、ペットボトル

「可燃物」に替わり「RDF資源ごみ」と呼ばれ

——（台所の）厨芥類、木製家具、

プラスチック類、壁紙

「不燃物」は一部変わりに金属類、（ビンを除く）

ガラス類、小型家電、

（塩ビ系）プラスチック

に分類されることとなつた。

しかし、こうした分類をしていると「ゴミ」「不要物」は人により、又、時代によつても替わつてくる。厨類は以前は家畜の飼料として使われたし、金属類も販売ルートに乗つておりとてもごみなど予想されなかつたと思う。ほかにまだまだ——新聞紙、ダンボールなども身のまわりの高級な衣類も、家具、電機製品も時をえれば——又、人の感性によつてごみとなつてしまうのである。

——くわしくは「恵那市ごみ百科事典」——で確認ください。

2 ごみは誰のものか？ ごみの行方

個々人が買つたり、使つたりしているものは大切な個人の所有物である。しかし、その人にとつて「不要なもの」となると「廃棄物」（ごみ）となつてしまう。やがて各地域の「一時集積所」に出されることとなる。しかし、まだこの段階では個人のものであり、その人の責任物である。

その後、市の収集車で回収され以後は市の責任において「可燃物」、「不燃物」、「資源ごみ」等が適切に処理されるわけである。

3 投棄禁止について

何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない。

一般廃棄物の不法投棄には三年以下の懲役または一千万円以下の罰金が課せられる。くれぐれもご注意を……。

4 住み良い環境づくりのために……（責務）

・国民（市民）の役割

廃棄物の排出の抑制……使い捨て製品
の自粛。

なるべく自ら処分……生ゴミ処理、堆肥化

分別して排出……市の計画に協力する

・事業者の役割、

自ら処理、製品、容器等処理が困難にならないものにしなければならない

・市町村の役割

ゴミの減量に関し市民の自主的活動の促進を図る

・国の役割

基本的、総合的な施策の策定

「ごみを出すマナーがあなたのお人柄」

夏休み子供向け講座

竹細工に挑戦

七月三十日と八月二日に竹細工講座（小坂求先生）を開き、小三〜中一の子供たち七人が挑戦しました。

ナイフを手にする機会が少なくなった子供たち。まずは、手始めに葉ばし作りです。おうちの方へお土産になりました。

ナイフに慣れたら竹とんぼ作りです。羽根のひねり具合、厚さや羽根と軸のバランスが、良く飛ぶか飛ばないかの決め手です。試行錯誤で作った竹とんぼを完成後、みんなで飛ばし合いをしました。「ここをもう少し削るといいかも。」などと自分で工夫した竹とんぼが、高く飛んだ時の喜びは大きいものだったと思います。

耳かきと孫の手作りにも挑戦しました。

機械づくりの完成品で遊ぶことが多いこの頃、自分で考え、作り、それで遊ぶという楽しみを体験し、また身近にあっても知らなかった竹の性質を学ぶことが出来た二日間でした。



包みひもでかご作り

八月六日、最近注目されているクラフトテープを使ったかご作り講座（渡辺美千代先生）を開いたところ、十七人の子供たちと二人のお母さんの参加がありました。

クラフトテープとは、米の紙袋のと同じひもに使われているような丈夫なひものことです。最近ではこのひもを使ったかごやバックを持つている人を良く見かけます。目にされた方も多いのではないのでしょうか。

今回は、子供でも作ることでできるパンかごを作りました。

まずかごの底を作り、それから輪にしたひもを下から編み上げていくのです。底を作る時、小さな手で押さえるのは大変でしたが、本を使ったりお友達と協力し合いました。少し挫折しそうになった子もいましたが、出来上がり形の形が見えてくると、時間が経つのも忘れ熱中しました。

苦労して作った分、完成したときはうれしいものです。

さて、それぞれのかごの中には何が入っているのでしょうか・・・



花無山俳句会

我が余生今年も栗と共にあり
還暦の娘を杖に墓参り
やり直し出来ぬ余生や汗を拭く
指先も袂も軽く踊りの娘
花火果つ小さき村の静けさよ
夏草や助け借りたし大館
稲穂浪やがて灯のつく一軒や
無縁仏芒がかくす登校路
百日紅下の枝より咲きにけり
立札の休耕蓮田蓮まばら
誕生日貰いし夏シャツ着て歩く
友の葬涙と汗の吊辞かな
元は兵戦語りし終戦日

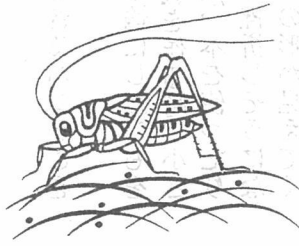
鈴木抱風子
同
ちかえ
芳子
靖代
はるか
美恵子
茶山
いさむ
筍子
ひろみ
道子
恵三



後期恵那市民講座（東野公民館分）

番号	講座名	対象 定員	講座内容	講師名	回数	開講日	日 時
40	心晴歌	一般 無制限	皆で楽しみながらいろいろな歌を歌いましょう	水野辰夫	10	10月11日	第2・4金曜日 13:30～
41	ソフ ト エ ア ロ ビ	一般 60名	チャレンジしませんか、ソフトエアロビ、軽快なリズムにのって心地よい汗、爽やかな気分を感じてみませんか。	前田芳美	6	10月12日	第2土曜日 19:00～
42	手づくりパン とお菓子	一般 15名	家族に安心して食べさせれる、手軽に出来るパン作りの基礎を習います。受講料 1,000円	細江万里子	4	10月4日	第1・3金曜日 9:30～
43	WALK & TALK 健康づくり	一般 無制限	野山と親しみ健康作り。歩く楽しみ、雑談の楽しみを求めて一万歩歩いてみませんか。	赤尾 毅夫	10	10月8日	第2・4火曜日 13:30～
44	パソコン	一般 10名	windows、パソコン、word（一太郎は使いません）。windowsの基礎、文書編集の基礎（総集書、名刺など）	西尾紀子	6	10月30日	毎週水曜日 19:00～
45	木目込み人形	一般 15名	人形に一枚一枚布を木目込んでいきます。来年の干支も作ります。	田口京子	6	11月14日	第2木曜日 10:00～
46	かな書道	一般 20名	かな書道にふれてみましょう。かな書道の基礎を勉強します。	市川 恵一	10	10月12日	第1・3土曜日 19:00～
47	フラワー アレンジメント	一般 15名	身近な花を使った花の楽しみ方、飾り方。	水野江身子	5	10月10日	第2木曜日 19:00～
48	簡単な おやつ作り	小中学生 20名	クッキーやパンなど簡単なおやつを作り方を習います。家でも家族に作ってあげられるといいですね。	今井さよ子	3	10月12日	第2土曜日 13:00～
49	紙粘土でマス コットづくり	小中学生 20名	廃品と紙粘土を使ってお人形さんや可愛い猫などのマスコットを作ります。	足立 晴子	4	10月5日	土曜日 9:00～
50	木工アート (サイコロコマ等)	小中学生 15名	木に色を塗って作品を作る木工アート、想像力が膨らみますチャレンジしませんか	小林 一雄	4	10月6日	日曜日 10:00～

詳しくは、配布されている募集案内をご覧ください。



編集後記

表紙は顔である。表紙が良いと中も見たいくなる。前号（7/16）の「公民館だより」はその意味で失敗であり、反省しているところです。

言い訳となるが、印刷の設定ミスでした。撮影の場所は笠作地内の農道から小麦田、朴の木更に阿木山を眺望した風景でしたが・・・

さて、秋のまつただななです。とはいえ、農作業も昔のような行程は無く、コンバイン ライスセンター（個人）米と省力化された。さて、残った時間は何に過ごされるでしょうか。お仕事第一他、旅行、趣味に……。いろいろ過ごし方もある。一つに生涯学習としての公民館での市民講座、自主活動団体でのサークル活動にいかが。今回、新たに2つのメニューを企画しました。秋の夜長に興じてみては・・・

文化祭関連行事

◆東野歌舞伎◆

と き：10月27日（日）

ところ：東野小学校体育館

入場無料

◆東野ふるさと音楽祭◆

と き：11月3日（日）

18時30分

ところ：東野小学校体育館

整理券200円

◆東野文化祭（展示物）◆

と き：11月3日（日）

9時～19時

11月4日（月）

9時～15時

ところ：東野公民館

作品の出品にご協力下さい。

「こんなもの出してみたい。」

公民館又は、各係りまで連絡下さい。

詳しいことは、10月1日 チラシにてお知らせします。

◇東野住民体育祭◇

と き：10月20日（日）

ところ：東野小学校グラウンド

休館日（変更の場合あり）

10月 7日・15日・16日

21日・28日

11月 5日・6日・11日

18日・25日・26日

12月 2日・9日・17日

18日・24日・25日

29日・30日・31日